

令和6年度 一般選抜後期日程 人間健康科学部看護学科 小論文
出題の意図と解答の傾向

第1問

【出題の意図】

ケアはどこでなされるにしろ、人間の体験における道徳的で人として意味のある実践である。そのような日常生活での自己の関わりを意識し、ケアについての考えを表現することを設問とした。

ケアの意味には、世話、介護、注意、気遣い、関心、配慮、心配などがある。人生100年時代と言われている今日、少子高齢化、子育て支援、介護、心の健康、災害への支援、多様性を重視した関わりなどにおいてケアは重要な概念であり、人との関わりが求められる看護学において、これまでの体験の意味付けを行い、自己の関わりを振り返り、内面を形成することは専門職としての成長に繋がる。

価値観が多様化している現代、私たちは日常生活で他者との関わりを通して様々な体験をしている。私たちの生活は、個人の考えや意識だけで成り立っているのではなく、他者との関わりの中で、形成されている。人間は多少なりとも、他者のために何かを行い、そのなかで自分の生きがいや成長を体験しているのだ。誰もが優しくありたい、優しくされたいと願っていることは否定できない。病気をもっている患者さんに限らず、若い子どもや高齢の方に関わるときに、暖かに関心に満ちた関わりをしているのではないだろうか。それを問うた設問である。

【解答の傾向】

自分が親、祖父母から大切にされてきた体験や、自分自身が家族、友人を大切に思っていて関わってきた体験を記載している内容が多くみられた。ケアの体験について分かりやすく具体的に記載している解答も多数存在した。その一方でケアとは関わりのない解答や、看護師になったときの目標を記述している内容もあった。身近な人との関わりから自分自身が考えるケアについては、結論として自身の考えを明確に表現している解答もあったが、本文からの引用にとどまった解答もみられた。

解答の中には、文字数が8割に満たない、誤った原稿用紙の使い方、誤字脱字、不適切な文章表現によって、減点された場合もあった。また、小論文では文語体での表現が求められるが、口語体での記述もみられた。

第2問

【出題の意図】

本学のアドミッションポリシーとして、「柔軟な発想で分析し、論理的思考に基づいて論述できる」を挙げている。設問1、設問2ともに推移を読み取り、それを論理的に説明できることを意図したものである。

設問1では、新体力テストのグラフから65歳以上の男性、女性の体力テスト合計点の推移を読み取り、また世代による特徴を捉えることを意図したものである。

新体力テストの合計点は、男性では平成15年度以降、平成24年度までは向上傾向であったが、平成30年度には横ばいとなり、2021年度はやや下降している。女性では、平成30年度まで向上傾向であったが、令和3年ではやや下降していることを読み取れることを意図した。

設問2では、健康上の問題で日常生活に制限のない期間とされる健康寿命は男女ともに延伸していること、また令和元年時点の健康寿命は男性が72.68年、女性が75.38年となっており、それぞれ平成22年と比べて令和元年では男性では2.26年、女性では1.76年延びていること、同期間における平均寿命も男女ともに延びているが、健康寿命の延びは平均寿命の延びを上回っている点を読み取れることを意図した。

設問3は図の読み取りを踏まえて健康寿命延伸のための取り組みについて、適切で明確（ポイントを絞った）な自身の主張（考え）を結論から述べ、健康寿命延伸のための取り組み理由（根拠）の具体性及び理由を裏付ける事実を具体的に、論理的に展開することを意図した。

【解答の傾向】

設問1

体力テストの合計点の推移は概ね読み取れていた。上昇傾向や横ばい、下降の推移の詳細を記載していない解答が散見された。また、令和3年度の新体力テストの合計点の下降をCOVID-19に関連づけている場合、外出機会の減少など根拠なる事実の記載がない回答が散見された。また、性別による差が小さいこと、高齢になるほど体力テストの合計が低いこと、合計点の向上は男性よりも女性の方が高いという解答が散見された。

設問2

平均寿命、健康寿命とも延伸していることは読み取れていた。また、平均寿命の男女差、健康寿命の男女差にも触れていた。グラフ上の19年間の平均寿命の延伸に関する男女差、各年代で平均寿命と健康寿命の差があること、女性の健康寿命と平均寿命の差が大きいという点を読み取っていた。健康寿命の延伸が平均寿命の延びを上回っている点を読み取っているものはほとんどいなかった。

設問3

概ねパラグラフライティングができており、コミュニティでの取り組み、若い世代の取り込み、身体活動だけでなく、栄養面にも言及する主張をしていた。他方、健康寿命延伸のための自身の主張（考え）の理由や根拠、また理由を裏付ける事実の記載が不十分な解答が散見された。